

## 東中学校の出前講座受講生からの感想文

東中学校の1年生の総合学習時間で行った出前講座(心肺蘇生法)に対して感想文を先生から送って頂きましたので先生からの紹介文の主文と合わせ2人の生徒さんの感想文を紹介させていただきます。

実施日時 2009年2月6日、13日（金）

会場 東中学校

対象者 1年生全員

定員 63名

内容詳細 福祉体験学習について

実施者 東久留米CPR友の会  
AEDを使った心肺蘇生法(実技)

### 先生からの紹介主文

体験を終えた生徒の感想に目を通したところ、命を救うことの大変さばかりではなく、命をつなぐ大切さを学べ、自分にも何かお手伝いできることがあるかもしれません、と自信を持つことができたようです。今後はこの経験で得たことをもとに、様々な場面で命の尊さを学習させていきたいと考えます。また、生徒達からの手紙も同封させていただきましたので、目を通していただけると幸いです。

### Mさんの主文

私は人が倒れているところを見たことがないので、その時の状況などはなにも分かりませんでした。でも、先日教えていただき、その時の状況などが少し分かったような気がします。

人が倒れている時は、周りの人々が心を一つにし、協力して心肺蘇生法を行わなければならぬといふことが分かりました。

先日は本当にありがとうございました。

### H君の主文

僕は心肺蘇生法のことは、何も知りませんでした。ですが今回の体験で人工呼吸や胸骨圧迫、AEDのやり方がよく分かりましたし、声をかける時やまわりの人に助けを求める時は、大きな声ではっきり、はずかしがらずやることが大切なのだと思いました。でも、人工呼吸や胸骨圧迫をやりつづけるのは、つかれて、とても大変なことだなと思いました。今後、人がたおれたりした時に本当に自分から進んでできるのかなーと思いました。ですが勇気を出して今回の体験を生かしてみようと思いました。この度は心肺蘇生法について教えていただき本当にありがとうございました。

短い時間の中で私達は生徒さんに正しいAEDを使った心肺蘇生法の実技を身につけていただこうと精一頑張りましたので、指導した内容やいざという時には行動してみようと思いついたことに大きな喜びを感じました。

この感動がボランティア活動の生き甲斐!